

# MindBoard 2 ユーザガイド

Tomoaki Oshima

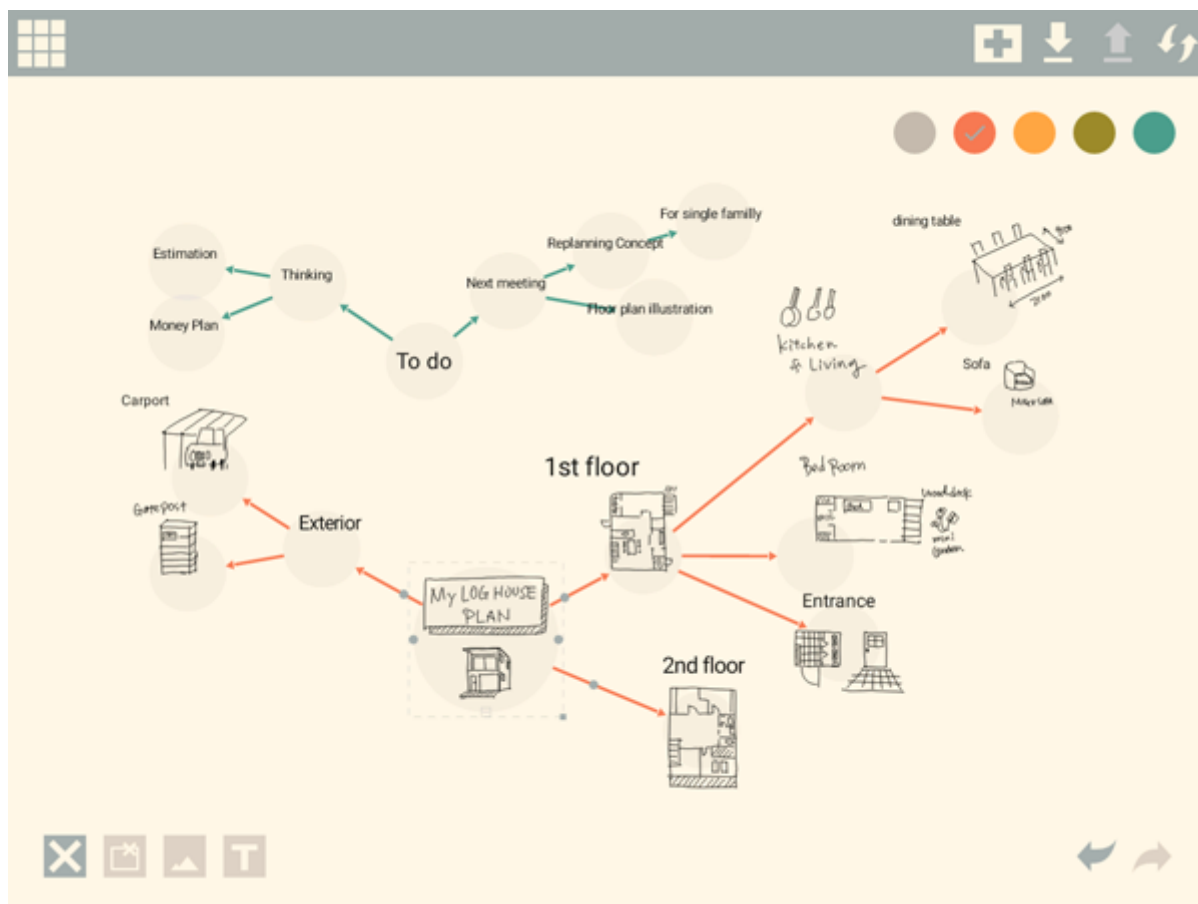
# Table of Contents

MindBoard 2 ユーザーガイド .....	2
1. イン트로ダクション .....	3
1.1. 概要 .....	3
1.2. コンセプト .....	3
1.3. 主な特長 .....	3
1.4. 必要な環境 .....	4
1.5. インストール .....	4
1.6. 連絡先 .....	4
2. MindBoard 2 の使い方 .....	5
2.1. 概要 .....	5
2.2. メインアクティビティ .....	5
2.3. ファイル管理アクティビティ .....	9
2.4. プラグインアクティビティ .....	11
3. 開発中の機能 .....	12

このドキュメントは MindBoard 2 Version 0.6.1 について説明しています。

# MindBoard 2 ユーザーガイド

# Chapter 1. イントロダクション



## 1.1. 概要

MindBoard 2 は シンプルなAndroid タブレット向けの手書きマインドマップ作成支援アプリです。

指での入力/スタイラスでの入力のいずれかに対応しています。

もし使用中の Android タブレットがスタイラス対応デバイスであればスタイラス対応のアプリとして、そうでなければ指による入力対応のアプリとして起動します。

## 1.2. コンセプト

シンプルで普通。

タブレット上で思考をストレスなく書き出していくアクティビティが普通にできるアプリを目指しています。

## 1.3. 主な特長

- スタイラス/指を使った思考のアウトプット
- ひとつのドキュメント内での複数センターノード（マインドマップ）の作成に対応
- PDF エクスポート (有料プラグイン)
- Google Drive 対応

今後のバージョンアップで以下の機能に対応予定です。

- 画像の挿入
- テキストの入力

など。



今後対応予定の機能の詳細は、  
セクションを参照ください。

このドキュメントの

開発中の機能

## 1.4. 必要な環境

- Android 4.4 Kitkat 以上の Android タブレット



Galaxy Note シリーズや Galaxy Tab A with S-Pen など S-Pen 対応の Android  
タブレットで、もっとも使いやすくなるように設計しています。

## 1.5. インストール

Google Play から [MindBoard 2](#) を入手します。

## 1.6. 連絡先

何か不明点等がございましたら、こちら  
ご要望などのフィードバックをいただけると幸いです。

[連絡先情報](#)

までご連絡ください。

アプリの更新情報はこちらのページ [Facebook](#) / [Twitter](#) をご覧ください。

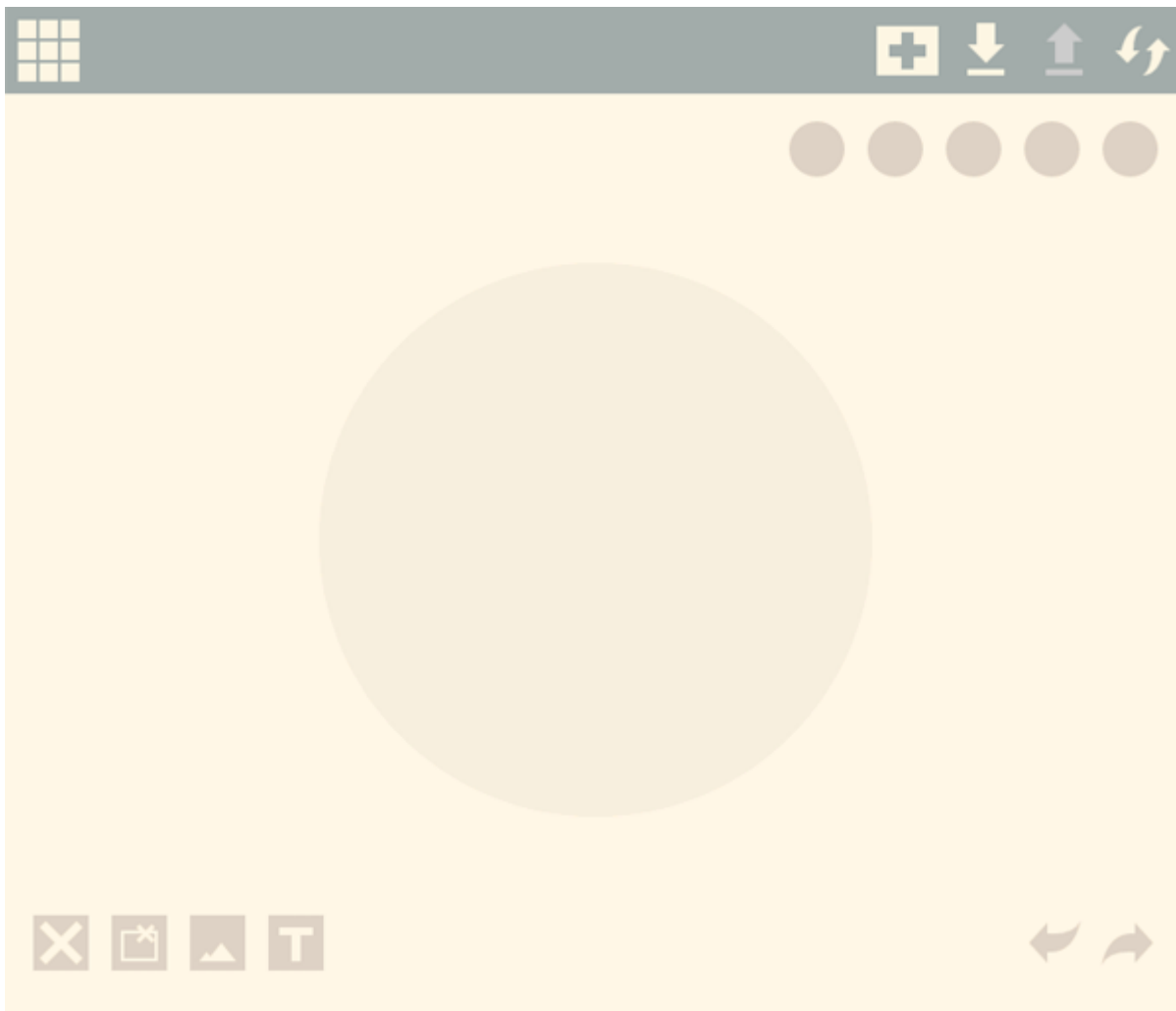
# Chapter 2. MindBoard 2 の使い方

## 2.1. 概要

MindBoard 2 は以下の 3 つのアクティビティから構成されています。

1. マインドマップを編集するための **(1)**メインアクティビティ
2. 作成したマインドマップを一時的に保管するためのバッファである **(2)**ファイル管理アクティビティ
3. 機能を拡張するための **(3)**プラグインアクティビティ

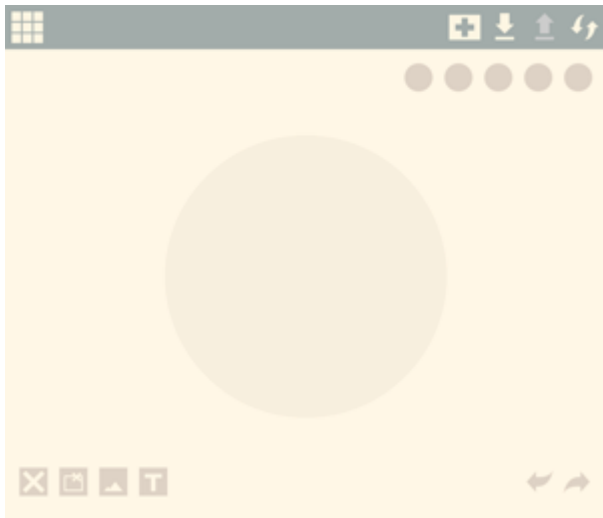
## 2.2. メインアクティビティ



メインアクティビティではマインドマップを編集します。  
マップ編集 と ノード編集 の 2 つのモードから構成されます。  
アクションバー上のアイコンをタップすることでファイル管理アクティビティに切り替えたり、  
現在編集中のドキュメントを Google Drive に保存することができます。

### 2.2.1. アクティブドキュメント編集機能

## マップ編集モード



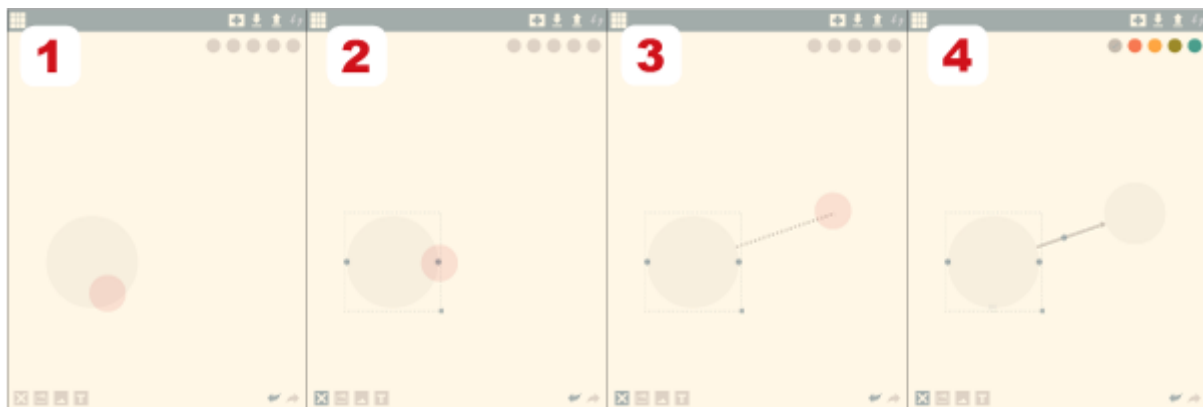
ノードを自在につくりながらマインドマッピングを行うモードです。

ノード編集モードへの切り替え

ノードをダブルタップします。

子ノード作成方法

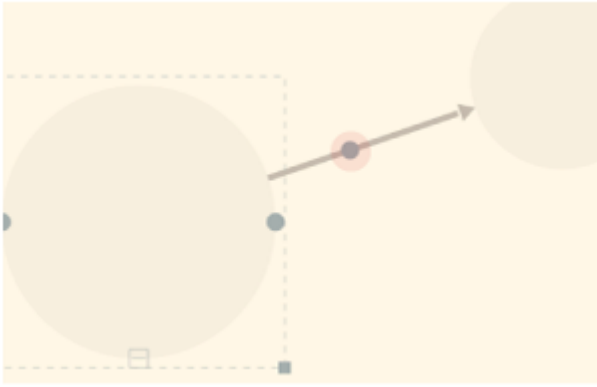
子ノードを作成するノードの左または右に表示されるハンドルを使用します。



1. ターゲットとなるノードをタップして選択→  
子ノード生成ハンドルがターゲットノードの左または右に表示される
2. 子ノード生成ハンドルをドラッグ
3. 適当な位置でドラッグを終了
4. 子ノードが生成される

親ノードと子ノードの連結解除





親ノードを選択すると、親ノードと子ノードを結ぶブランチの上の中間点にノード連結解除ハンドルが表示されます。

そのハンドルをドラッグして、親ノードと子ノードの連結を解除します。

連結を解除した子ノードはセントラルノードに変わります。



子ノード生成ハンドルをドラッグして、セントラルノードに重ねることで、そのノードを再度別の親ノードと連結できます。

#### ノード位置の移動

ノードをドラッグします。

#### ノードのリサイズ

ノードを選択して、ノードの選択ボーダーの右下をドラッグします。

#### ノードの折りたたみと展開

ノードを選択して、ノードの下の部分に出現する 折りたたみ/展開 ボタンをタップします。

#### ノードの削除

ノードを選択して、編集ツールバーの削除アイコンをタップします。



#### ノード編集モード



ノードにアイデアを書くためのモードです。

マップ編集モードに戻るには、画面右上のクローズボタンをタップします。



スタイラスを使用している場合は、指を使ったダブルタップジェスチャーでもマップ編集モードに戻ることができます。

ツールスイッチャー



ペン / 消しゴム / 選択 / ズーム の4つのツールがあります。

ツールの変更はツールスイッチャーから特定ツールをタップします。



現在のところペンの色は黒のみです。  
将来プラグインとして複数の色や太さのペンを提供予定です。

ツールスイッチャー（スタイラス対応デバイスの場合）



ペン / 消しゴム / 選択 の3つのツールがあります。

ツールの変更はツールスイッチャーから特定ツールをタップします。



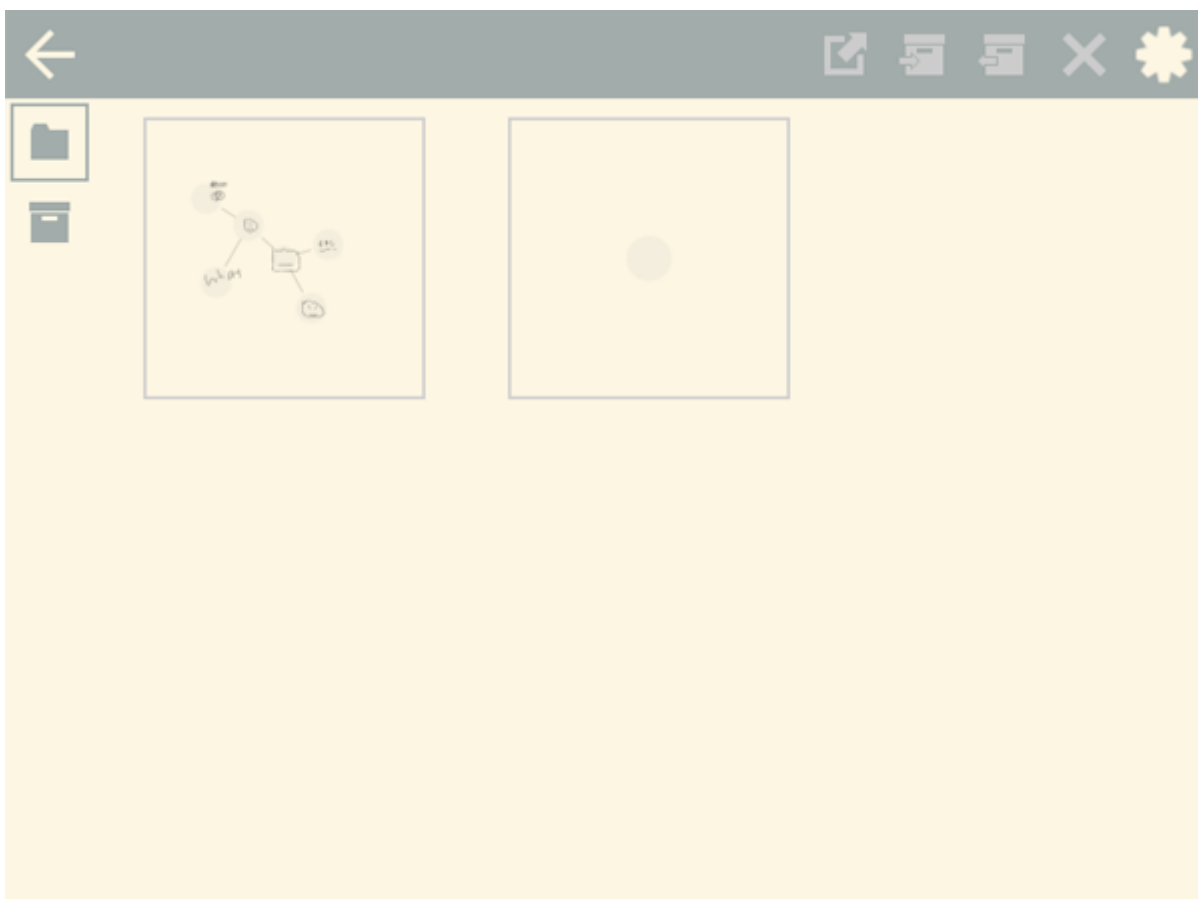
現在のところペンの色は黒のみです。  
将来プラグインとして複数の色や太さのペンを提供予定です。

## 2.2.2. 現在のアクティブドキュメントのファイル管理



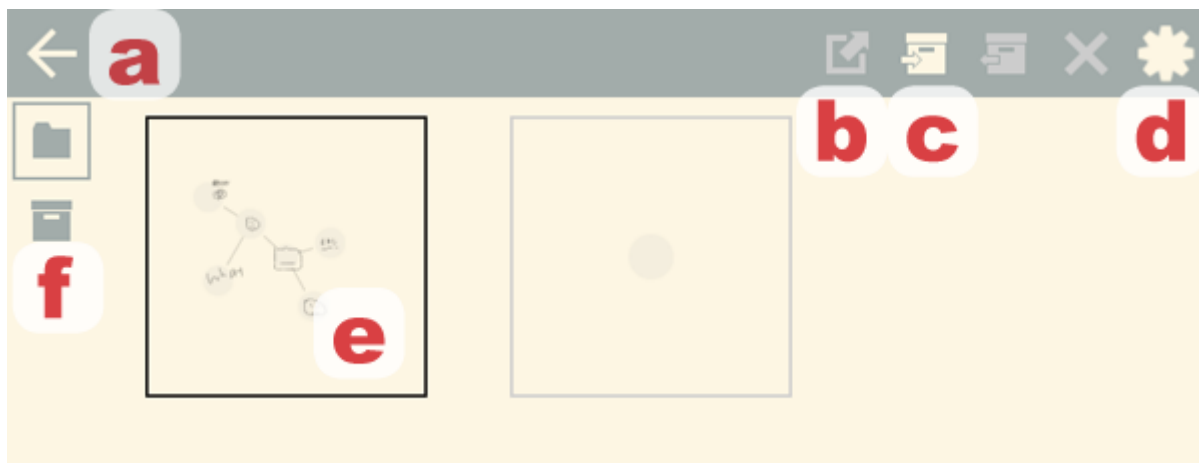
- (a). ファイル管理アクティビティボタン
  - ファイル管理アクティビティへ移動します。バックグラウンドバッファとして複数のファイルを管理できます。
- (b). 新規ドキュメント作成ボタン
  - 新規ドキュメントを作成してアクティブドキュメントとします。
  - 今まで編集していたドキュメントはバックグラウンドバッファに入ります。バックグラウンドバッファ内のファイルはファイル管理アクティビティからアクセスできます。
- (c). ドキュメントオープンボタン
  - Google Drive からファイルを開きます。
- (d). ドキュメントセーブボタン
  - Google Drive にドキュメントを保存します。
- (e). ドキュメント同期ボタン
  - Google Drive から開いたドキュメントと現在のアクティブドキュメントを同期します。

## 2.3. ファイル管理アクティビティ



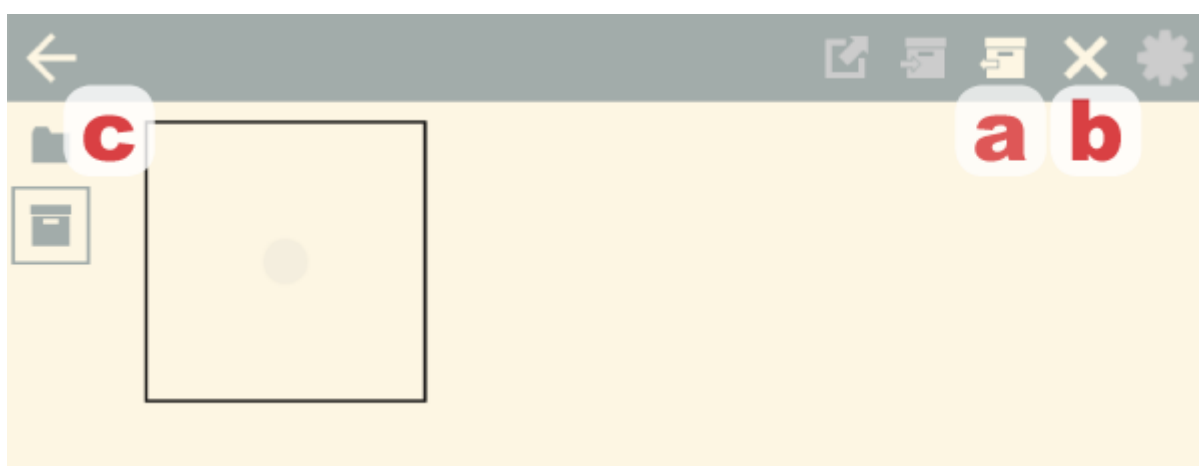
ドキュメントの管理画面です。  
プライマリ / アーカイブ の2つのフォルダがあります。

### 2.3.1. プライマリフォルダ



- (a). 戻るボタン  
。タップすると、メインアクティビティに戻ります。
- (b). PDFエクスポートボタン  
。選択中のドキュメントをPDFに変換します。結果のPDFは Google Drive へ保存します。
- (c). アーカイブへ移動ボタン  
。選択中のドキュメントをアーカイブフォルダへ移動します。
- (d). プラグインボタン  
。プラグインアクティビティへ移動します。
- (e). ドキュメントプレビューボタン  
。ダブルタップするとそのドキュメントをアクティブドキュメントとして読み込み、メインアクティビティへ戻ります。
- (f). アーカイブフォルダ表示ボタン  
。タップすると、アーカイブフォルダに切り替わります。

### 2.3.2. アーカイブフォルダ



- (a). プライマリへ戻るボタン  
。選択中のドキュメントをプライマリフォルダに移動します。
- (b). クリアボタン  
。アーカイブフォルダ内にあるすべてのドキュメントを完全に削除します。

- (c). プライマリ表示ボタン  
。タップすると、プライマリフォルダに切り替わります。

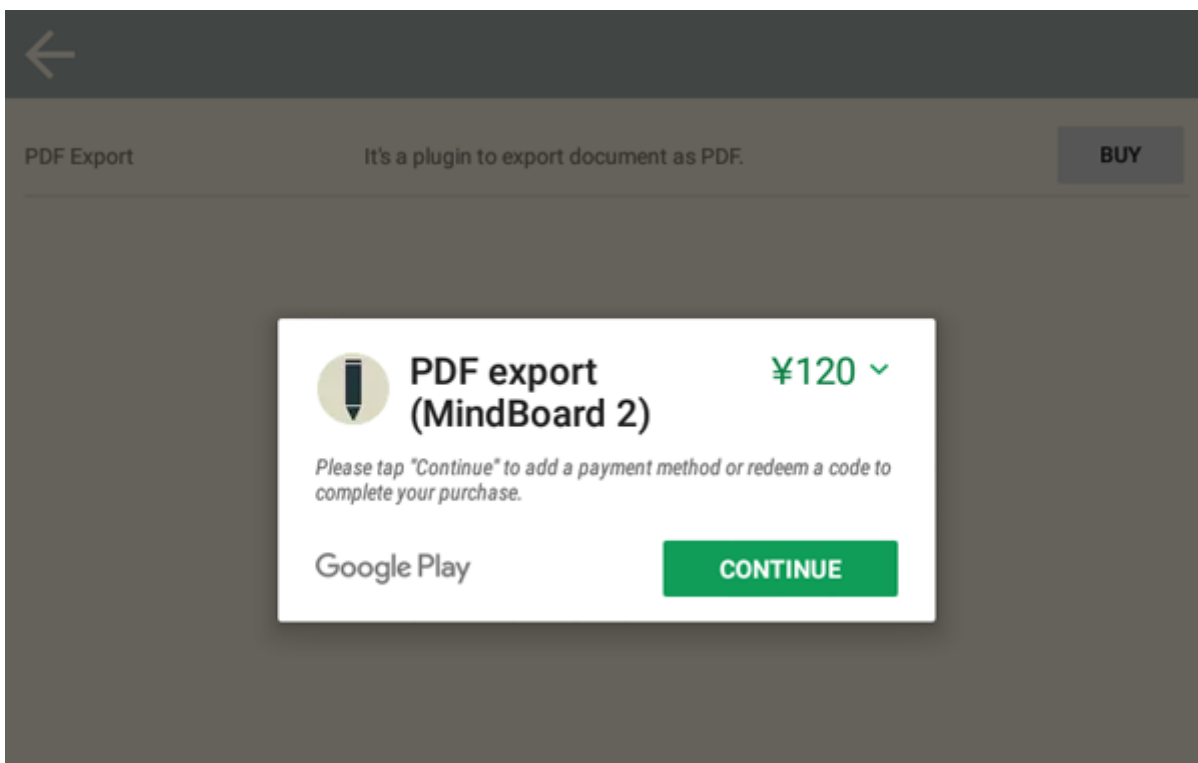
## 2.4. プラグインアクティビティ



拡張機能の一覧です。

現在のところ、拡張機能は **PDF Export** プラグインのみの提供です。

**BUY** ボタンをタップすると、購入プロセスに入ります。



**PDF Export** プラグインを購入すると、ファイル管理アクティビティでPDFエクスポートボタンが有効になります。

## Chapter 3. 開発中の機能

今後のバージョンアップで以下の機能に対応予定です。

- 画像の挿入
- テキストの入力
- 別のマップへのリンク
- 以前のバージョンのMindBoardデータの読み込み
- テーマカラーの変更
- ペンのバリエーション（色と太さ）の変更機能